

## V13a すばる望遠鏡計画の進捗

林 正彦 (国立天文台ハワイ観測所)、すばる望遠鏡チーム (国立天文台)

すばる計画は、一部の工程で多少の遅れはあるものの全体として順調に進展している。本講演では最近の進捗状況を詳細に報告する。

- (1) ハワイ観測所の発足 本年4月1日に文部省令施設としてのハワイ観測所が発足した。平成9年度には24人、平年時には27人が日本から赴任予定であり、ほぼ同数の現地職員とともにすばる望遠鏡の運用や研究・開発にあたる。
- (2) ヒロ研究実験棟本部の完成 ハワイ大学ヒロ校ユニバーシティパーク内に研究実験棟本部が完成し、ハワイ観測所発足のお祝いも兼ねて6月12日に関係者へのお披露目を行った。
- (3) ドームの完成 昨年1月に発生した火災のため延びていた工事が終了してドームが完成し、試験調整の段階に入っている。
- (4) 望遠鏡本体の組立 国内での仮組試験を終えた望遠鏡本体は解体されてハワイに輸送され、山頂での組立を終了して総合調整の段階に入った。
- (5) 主鏡研磨の進捗 コントラベスにて研磨中の主鏡は球面研磨を終了し、非球面研磨の段階に入った。
- (6) 真空蒸着装置 ドーム下部に設置された大型真空蒸着装置では性能確認試験が進んでおり、十分な膜厚の均質なコーティングを施せる見通しが立ってきた。詳細は別講演(林左絵子 他)を参照。
- (7) スーパーコンピュータの導入 研究実験棟本部の計算機室に、スーパーコンピュータVPP700/22や大容量データアーカイブ装置PetaSiteが導入され、運用が開始された。詳細は別講演(小笠原隆亮 他)を参照。